

◎ 次期横須賀市教育振興基本計画における目指す姿（案）

1 未来の横須賀の教育に対する思い・大切にしたいこと（第2回検討委員会）

自立、自律、主体性、生涯学び続ける力

- ・自分自身を強くしていく力、律していく力、自己解決する力が大事（梅谷委員）
- ・近年の動きを考えていくと、一人一人の子ども、子ども以上に市民社会が自ら物事をきちんと考えて判断してくという、主体性の在り方の問題だと思う。（小林委員長）
- ・「学びを礎に豊かな人間性を備え自己実現に向かう」を提案したい。知識がないと、人間性の向上や自己実現に向かわない。最終的に自分らしくどう生きるか、ということ「自己実現」に置き換えて表現してみた。（岡本委員）
- ・自らを愛し、自主的に活動する、自ら考え行動することが必要だと思う。学ぶ意欲が自然に湧いてくるような、学びを誘い合える、子どもから高齢者まで学ぶ喜びを感じられる教育でありたい。（渡辺委員）
- ・生涯にわたって学び続ける力を高めるという要素は大事にしたい。（妹尾委員）

多様性、協働性

- ・「笑顔で」は少し引っ掛かる。笑ってチャレンジできないときもある。フォーラムで思いやりに関する言葉が多かったことは、未来に向けて少し安心した。（小野寺委員）
- ・みんなが明るく元気でなくてもよいのかな、と思う。それが個性（岡本委員）
- ・共に暮らす人を大切に思い、互いに助け、支え合う人になることが必要（渡辺委員）
- ・自分を育てることとともに、多様な価値観を認めていくことも大事（梅谷委員）
- ・多様であっていい、みんな違っていいという考え方がより強くなってきた。多様性という言葉でくくる危うさはあるが、子どもも大人もいろんな多様性、価値観を一層大事にしていく計画でありたい。（妹尾委員）
- ・グローバル社会の中で重要視されている多様性という問題。ダイバーシティという言葉もあり、インクルーシブ、包摂性、寛容性、優しさということは大事にしたい。お互いさまとして立場や意見や思いの違いをどうやってつなぎ合わせていくかという、協働性の部分は非常に大事（小林委員長）

横須賀への思い（郷土愛）

- ・横須賀を好きになってもらい、自信を持って社会に出て、大人になって横須賀に帰ってきて、貢献できる子どもに育ててほしい。（小野寺委員）
- ・ふるさと意識、横須賀という地が好きであるということを大事にしたい。（梅谷委員）
- ・横須賀の良さを世界に発信できる人間（横須賀総合高校の目指す生徒の人間像のひとつ）、横須賀が大好きで、将来横須賀のために貢献できる人間になってもらいたい。（伊藤委員）
- ・横須賀で働く大人たちの背中を見せる教育が必要。「横須賀で活躍したい。」と戻ってきてくれる。横須賀で学んで、横須賀のために頑張ってくれる。「地元愛」をキーワードに子どもと大人が学び合う都市を目指すということが大事（櫻井委員）
- ・郷土を愛する、郷土を大切にする、暮らしている地域を大切に思う、地域で暮らす人々を大切に思う、そのようなかたちが良いのではないか。（渡辺委員）
- ・横須賀は誇るべき、特筆すべき文化遺産があり、これが今の生活にも直結している。いろんな背景を抱えながらの文化遺産や社会教育施設はまさに多様性で、幅はすごい。人という視点に加え、このような視点も入ると良い。（梨本委員）

-
- ・多様性を大事にする中で、「地元愛」「横須賀を誇りに思う」という言葉も、少し押し付けがましい部分がある。結果としてそういう子どもが増えたら良い、という思惑、施策は良いが、前面に出す必要まであるかは要検討ではないか。（妹尾委員）
-

- ・やはり「横須賀市の教育をどうするか」なので、地域特性、横須賀の良さは自信を持ってしっかり子どもにも市民にも向けて発信すべき。ナショナリズムではなく、人として自然な、自分の生まれた土地や地域に対する愛情、ということを経験した上で表現を工夫し、横須賀を愛していくということを大切に扱いたい。（小林委員長）
- ・「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」というフレーズは気に入っている。そこには地域愛を込めるが、押し付けにならないように他で案配をとるなど、なるべく子どもたちに地域を好きになってほしいという気持ちを込めたい。（小野寺委員）
- ・よそから横須賀に移り住み、子育てしながら横須賀のいろいろなところを回った。最初はわからなかったが、結果、私は今横須賀が好き。子どもも、結果、横須賀を誇りに思っている。時間をかけて、大人も共に動いていいところを見つけていくことが、最終的にふるさとが好きということにつながるのではないか。（岡本委員）

2 何を指すか

⇒ 「子ども像」より「人間像」(人づくり)が望ましい。

- ・子どもだけでなく、子どもも大人も学び合うという点は、人口減少を考えても大事。小、中、高で基礎固めした上で、大人になっても学び続けるということ。(妹尾委員)
- ・「子ども像」は違和感がある。基本計画を10年と考えると子どもは大人になる。子どもの教育と大人の教育はシームレス、持続可能に回らなければならない。(櫻井委員)
- ・社会教育を別建てしないのであれば、市民全体という視点が入ると良い。(梨本委員)
- ・横須賀で暮らす人づくり、教育という計画に変えていくべきかなと思う。(渡辺委員)
- ・教育は学校で過ごした後も続くので「人間像」の方があてはまると思う。(松浦委員)
- ・義務教育中心だと感じられてしまうので、高校の内容もバランス良く入れたい。成人年齢引き下げを考えても、「子ども」は少しそぐわないのではないか。(伊藤委員)
- ・今までは学校教育中心だったが、もう少し社会教育というか、市民という視点で捉え、発信できると良いという意見が多かった。自分もそのように考える。(小林委員長)

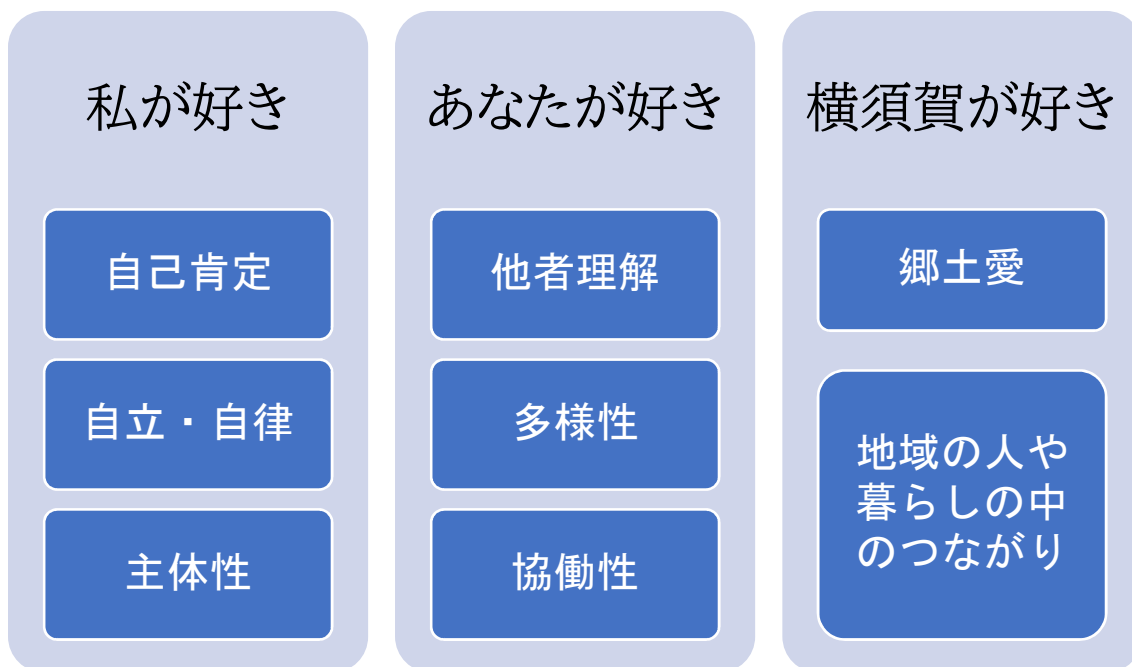
3 構成

⇒ シンプルが良い。しかし、そこに込めた思いや背景の説明は大事

- ・教育の姿や人間像の前に、キャッチフレーズ、キャッチコピーのようなものを作ると、親や市民は何がしたいかはっきり分かるのではないか。(小野寺委員)
- ・箇条書きで細かいものよりは、キーワードをドンと出してしまおう方が良い。(櫻井委員)
- ・シンプルな表現の方がすべての市民に、子どもたちに分かりやすい。(梨本委員)
- ・できればまとめて極力シンプルな表現が良いという意見は自分も同じ。(小林委員長)
- ・「人間性豊かな子ども」は覚えやすく分かりやすい。このままでも良いのではないか。そこから枝分かれする6つの要素を変更するという考えでも良いと思う。(岡本委員)
- ・キャッチフレーズ的な、端的で、目に触れやすいものが良い。ひとつの像で示し、枝分かれする部分で具体的に説明する形が良いのではないか。(松浦委員)
- ・唱えやすく、覚えやすいことが大事。シンプルに、目を引かれるような計画でありたい。しかし、シンプルすぎても伝えたいことが伝わらないので、大きな枠組みとは別に説明書きも入れるなど、工夫が必要ではないか。小、中、高でバージョンを分けるなど工夫すると、児童生徒にも浸透していく。(伊藤委員)
- ・幸せを自らつくっていきける生徒を増やしたいという理念で「Happiness Creator」を学校像、学校経営のキーワードとしている学校もある。シンプルは賛成だが、抽象度が高くなれば通り一遍の、別に横須賀でなくてもよいものになってしまう。理念の背後にあるもの、その心は何なのかということをかみ砕いて説明することは大事(妹尾委員)

■ 横須賀の教育の基本理念

「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」と誇れる人づくり



○ 基本理念に込めた思い

「私が好き」

自分らしく生きることを大切に、自ら考え、行動し、自分で判断する力や、生涯自ら学び続け、自分を律する力を持った人になってほしいという思いを込めています。

横須賀の教育は、自己肯定、自立・自律、主体性を大切にし、「私が好き」と誇れる人を育てます。

「あなたが好き」

相手への思いやりを大切に、違いを認め、受け入れる心を持ち、様々な価値観を持った人と力を合わせ、助け合える人になってほしいという思いを込めています。

横須賀の教育は、他者理解、多様性、協働性を大切にし、「あなたが好き」と誇れる人を育てます。

「横須賀が好き」

生まれ育ち、学び、暮らす地元への愛情・愛着を大切に、地域の歴史や文化、人と人とのつながりを実感できる人になってほしい、そして、横須賀で活躍し、自信を持って横須賀の良さを発信できる人になってほしい、という思いを込めています。

横須賀の教育を通じ、誰もが自然に「横須賀が好き」と誇れる、そんな姿を目指します。

※ 補足説明

「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」は、市民の皆様にも、未来の横須賀の教育について夢や理想を語っていただいた「横須賀市教育フォーラム」の中で出てきた言葉です。

自己肯定・他者理解・郷土愛など、フォーラムの中で多くの方からいただいたキーワードを包括できるとともに、シンプルで覚えやすく、目指す姿を一言で表せる、浸透させやすい言葉だと考えています。

ただ、この「好き」という言葉を使うことについては、様々な意見がありました。「自分を好きになれない困難な状況の人に対して、辛い内容ではないか」「多様な価値観を大切にするといいながら、好き嫌いを押し付けることになるのではないか。」といったご意見です。

「好き」という言葉はシンプルで覚えやすい反面、丁寧な説明がないと意図しない伝わり方になってしまうため、「基本理念に込めた思い」の中に、「好き」が意味する内容や、教育の中で大切にしたいことを表しています。

横須賀の教育に関わる人々が基本理念を共有し、それぞれの視点で、それぞれに合った取り組みを行っていくことにより、結果として誰もが自然に「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」と誇れる人になってほしい、という思いを込めています。

「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」と誇れる人づくり

自分らしく生きることを大切に、自ら考え、行動し、自分で判断する力や、生涯自ら学び続け、自分を律する力を持った人になってほしいという思いを込めています。横須賀の教育は、自己肯定、自立・自律、主体性を大切に、「私が好き」と誇れる人を育てます。

私が好き

自己肯定
自立・自律 主体性

あなたが好き

他者理解
多様性 協働性

相手への思いやりを大切に、違いを認め、受け入れる心を持ち、様々な価値観を持った人と力を合わせ、助け合える人になってほしいという思いを込めています。横須賀の教育は、他者理解、多様性、協働性を大切に、「あなたが好き」と誇れる人を育てます。

横須賀が好き

郷土愛
地域の人や暮らし
の中のつながり

生まれ育ち、学び、暮らす地元への愛情・愛着を大切に、地域の歴史や文化、人と人とのつながりを実感できる人になってほしい、そして、横須賀で活躍し、自信を持って横須賀の良さを発信できる人になってほしい、という思いを込めています。横須賀の教育を通じ、誰もが自然に「横須賀が好き」と誇れる、そんな姿を目指します。